

平成 2 4 年 第 1 2 回
足立区教育委員会定例会

日 時 平成 2 4 年 1 2 月 1 0 日 月曜日 午後 3 時 0 0 分開議
会 場 足立区教育委員会室

1 議事日程	頁
日程第 1 第 6 1 号議案 足立区教育財産の用途廃止の承認について 1
日程第 2 第 6 2 号議案 足立区文化財の登録及び登録解除について 4
日程第 3 教育長報告	
2 報告事項	
足立小学校新築工事基本設計について 《大山 学校施設課長》 7
伊興小学校施設更新に伴う設計等業務委託事業者の決定について 《大山 学校施設課長》	... 1 4
「足立区学力向上に関する総合調査」委託事業者の選定結果について 《宮澤 教育指導室長》	... 1 5
学校事故報告について（平成 2 4 年 1 1 月分） 《宮澤 教育指導室長》	... 1 7
足立区待機児童解消アクションプランの進捗状況について（1 1 月末現在） 《鳥山 保育計画課長》	... 1 9
ギャラクシティカフェ出店事業者の選定結果について 《大谷 青少年課長》	... 2 0
3 その他報告資料	
足立区立小・中学校の適正規模・適正配置の進捗状況について [学校適正配置担当課]	... 2 2

小児生活習慣病予防健診事後講演会及び個別相談の実施について	[学務課]	... 2 3
認可外保育施設等における3歳児入園希望先意向調査の結果について		
	[保育計画課]	... 2 4
行事实施結果・行事实施予定	[青少年課]	... 2 6
行事实施結果・行事实施予定	[生涯学習振興公社]	... 3 0

平成24年12月10日

足立区教育委員会

午後 3 時 0 0 分開会

委員長 ただいまから本年第 1 2 回足立区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席委員数は定足数であります。よって会議は成立いたします。

それでは、これより審議に入ります。

委員長 初めに、会議録署名委員の指名をいたします。

本日の会議録署名委員に小川委員、花岡委員をご指名いたしますので、よろしくお願いたします。

委員長 それでは、これより議事日程に入ります。

日程第 1、第 6 1 号議案を議題といたします。

庶務係長。

庶務係長 日程第 1、第 6 1 号議案 足立区教育財産の用途廃止の承認について。

以上。

委員長 第 6 1 号議案について、鈴木学校教育部長から説明をお願いいたします。

学校教育部長。

学校教育部長 それでは、3 ページをお開きいただきたいと思ひます。

件名は記載のとおりでございます。

提案理由でございますが、一部誤植がありました。大変申しわけございません。読み上げて訂正いたします。正しくは、伊興小学校の改築工事に伴い一部財産の用途廃止をする必要があるためご提出したものでございます。

用途廃止する財産及び用途廃止日でございます

すが、工作物、プールでございます。数量、価格、用途廃止年月日は記載のとおりでございます。

公有財産規則に基づきまして財産活用課長あて、行政財産の用途廃止についての協議を行い、取り壊し完了後は資産管理部長あて、取り壊しについて通知をするものでございます。

よろしくご審議のほど、お願いいたします。

私からのご説明は以上でございます。

委員長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。第 6 1 号議案について、ご質問、ご意見がありましたら、委員のご発言をお願いします。

よろしいですか。

(なし)

意見がないようですので、意見なしと認め、これより第 6 1 号議案 足立区教育財産の用途廃止の承認についてを採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

次に日程第 2、第 6 2 号議案を議題といたします。

庶務係長。

庶務係長 日程第 2、第 6 2 号議案 足立区文化財の登録及び登録解除について。

以上。

委員長 第 6 2 号議案について、丸山地域のちから推進部長から説明をお願いいたします。

地域のちから推進部長。

地域のちから推進部長 それでは、6 ページをごらんいただきたいと思ひます。

件名は記載のとおりでございます。

足立区文化財保護審議会を平成 2 4 年 1 0 月

23日及び平成24年11月19日に開催した結果、文化財の登録及び登録解除について答申がございましたので、ご報告するものでございます。

2の(1)が登録でございまして、記載されている9件となります。

2の(2)をごらんください。こちらは登録解除でございまして、記載の2件でございます。

ご審議のほど、よろしく願いたします。
委員長 ただいま説明がありましたので、これより本案の審議に入ります。第62号議案について、ご質問、ご意見がありましたら、委員の発言をお願いいたします。

小川委員。

小川委員 登録解除が2件ありますが、その理由をご説明いただければと思います。

委員長 地域文化課長。

地域文化課長 お手元の資料に基づいてご説明を申し上げます。

まず、大乘院本堂でございますが、こちらにつきましては老朽化ということでございます。お寺から建て直したいという申し出がございましたので、やむなく解除をしたものでございます。

次に、細井家経蔵1棟でございます。こちらは個人所有ということで、先祖代々お守りいただいていたのですが、所有者の細井さんから、土地を有効利用したいとの申し出がありましたので、解除いたしました。

なお、この経蔵につきましては郷土博物館へ寄贈していただきました。

以上でございます。

委員長 よろしいでしょうか。

小川委員 はい。

委員長 ほかにございますか。

(なし)

ないようですので、意見なしと認め、これより

第62号議案 足立区文化財の登録及び登録解除についてを採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

庶務係長 桑原委員長、よろしいでしょうか。

丸山部長ですが、この後も公務がございましたため、申しわけございませんが、ここで失礼をさせていただきますと思うのですが、よろしいでしょうか。

委員長 はい。

地域のちから推進部長 どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

委員長 ありがとうございます。

庶務係長 続けてお願いいたします。

委員長 では、次に日程第3、教育長報告です。

青木教育長、お願いいたします。

青木委員 それでは、平成24年第4回足立区議会定例会について、ご報告をさせていただきます。

12月6日の本会議で各会派から代表質問が行われました。通常ですと、本会議は3日間行われるところでございますが、選挙の関係もあり、1日間に短縮され、代表質問のみで一般質問はなしという本会議となりました。

全ての会派から教育、あるいは子育て施策についてのご質問をいただいております。

初めに自民党ですが、古性重則議員から日本型家族のあり方、日本の伝統や文化の普及について、学校教育部の新組織について、学校統廃合、学校施設更新計画について、ご質問をいただきました。

日本型家族のあり方についての質問の趣旨は、家族というものの機能が失われていく中で、おじいちゃんやおばあちゃんが保育を担っているようなケースについて、助成金を出すことは考えら

れないかというものでした。

こちらにつきましては、核家族化や少子高齢化が進む中、平成6年12月にエンゼルプランが策定され、今後の子育て支援のための施策の基本的方向について政策決定がなされました。その中で、子育ては家族のみならず社会全体で支えていくという考えにより、その仕組みづくりに取り組んできた経緯がございます。この間、区では特に保育施設の整備を緊急の課題として取り組んでまいりましたが、ご提案にあった、祖父母の方が保育をされているご家庭への助成金の給付については、財政的な課題もあり非常に難しい。こう答弁をさせていただいております。

しかしながら、古性議員からご指摘のあった、家族機能の再評価はとても重要なことですので、それも含め、総合的な子育て支援事業を拡充していきたいと、こういった趣旨の答弁をさせていただいております。

次に、日本の伝統や文化の普及につきましては、子どもたちが日本の伝統芸能に親しみ、身近に感じながら成長していくことができるよう、区では足立区文化団体連合会や足立区郷土芸能保存会の協力を得て、区内の小・中学生を対象とした伝統文化こども教室を開催しています。今後も日本の伝統や文化を大切にすることを積極的に進めてまいります。このように答弁をさせていただいております。

公明党の前野和男議員からは、学校の適正規模・適正配置、特別教室のエアコン設置、待機児童対策、保育ママの待遇改善、子どもパートナーサポーター制度についてのご質問をいただきました。

主な答弁でございますが、小・中学校の適正規模・適正配置につきましては、次に取り組むべきエリアについて具体的な検討を進めております。

また、学校の施設更新は統廃合と絡めて検討してまいります。

なお、今後の施設更新計画の方針を、平成25年1月を目途に公表してまいります。こういった答弁をさせていただいております。

なお、学校統廃合に関しましては、自民党からも同様のご質問をいただきましたので、同じ趣旨の答弁をさせていただいております。

次に、共産党のはたの昭彦議員からは、認可保育園の増設、公立保育園の民営化についてのご質問をいただきました。

認可保育園の増設につきましては、足立区待機児童解消アクションプランでお示ししたとおり、千住曙町地域、千住大橋地域、西新井栄町地域の3カ所で、平成25年4月の開設に向けて整備を進めており、今後については、アクションプランに示した基準に基づき、地域ごとの保育事業を精査しながら、認可保育園の整備も含めた待機児童対策に取り組んでいきたいと答弁をさせていただいております。

このほか民主党の鈴木あきら議員からは、いじめ対策として第三者的な機関をつくれぬか、教師によるいじめは無いか、こういったご質問をいただいております。

今後、区としては、教員のいじめを発見する能力を高める研修を、積極的に開催していくということ、第三者的な機関については考えていないという答弁をさせていただいております。

教員によるいじめについてですが、絶対にあるとはならないことであり、そういうことが発生した場合は学校長と連携を取りながら、しっかりと対応していくと答弁させていただきました。

みんなの党のただ太郎議員からは、学校給食について、食材の放射能検査をやらないのかというご質問をいただきました。これにつきましては、

かねてから、全ての会派にお答えをさせていただいておりますが、今流通している食材は検査済みであり、特に大きな変化がない限り、改めて検査はいたしませんという答弁をさせていただいております。

なお、12月12日には文教委員会、12月17日には子ども施策調査特別委員会が行われ、12月20日の最終本会議をもって全日程が終了する予定になっているところでございます。

私からは以上でございます。

委員長 それでは、続きまして報告事項に入ります。

初めに と について、大山学校施設課長、よろしくお願ひいたします。

学校施設課長。

学校施設課長 資料7ページをごらんください。

件名は、記載のとおりでございます。

千寿第五小学校と五反野小学校の統合新校となります、足立小学校新築工事の基本設計が完了いたしましたので、ご報告いたします。

まず、基本設計の概要でございます。延べ床面積は約9,800平米でございます。1階につきましては、校長室、職員室などの管理諸室、また体育館、給食場、放課後子ども教室、地域連携室等を設置する予定でございます。

2階以降につきましては、普通教室のほか、図書室、パソコンルーム、特別支援教室を設置いたします。

また、3階におきましては特別教室、4階には特別教室のほか視聴覚室兼ランチルーム、歴史資料室等々を設置する予定になっております。

また、屋上階には屋上プール、太陽光パネル、屋上緑化などを配置する予定でございます。

校庭につきましては110メートルトラック6コース、50メートルの直線6コースとなる予

定でございます。

今後の予定でございますが、来年3月までが設計、4月以降10月までが既存の五反野小学校の校舎の解体、10月以降に建設工事に着手をいたします。開校予定は平成27年4月でございます。

解体及び建設工事につきましては、近隣家屋が密接しているため安全管理、防音対策等を十分に講じてまいりたいと思っております。

8ページから13ページまで、各階ごとの平面図がついてございますので、後ほどごらんいただければと存じます。

続きまして、資料14ページをごらんいただきたいと思ひます。伊興小学校施設更新に伴う設計等業務委託事業者の決定についてでございます。

伊興小学校の施設更新に伴います設計業者が決定いたしましたのでご報告をするものでございます。

委託事業者は、株式会社桂設計でございます。こちらの事業者は新田学園、あるいは足立小学校の設計も行っております。

委託金額、委託期間については記載のとおりでございます。

主な委託業務の内容でございますが、敷地測量調査業務、基本計画作成、設計業務、工事監理業務でございます。

スケジュールでございますが、本年度から、各種調査並びに既存プールの解体が始まり、遺跡調査もございまして、最終的には平成29年度までの、長期の工事になる予定でございます。

問題点・今後の方針でございますが、今回の施設更新に当たりましては、遺跡調査のため通常の施設更新に比べまして工事期間が長期にわたる予定です。工事期間の短縮、仮設校舎の配置計画など、子どもたちの負担軽減について今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

委員長 次に、 と について宮澤教育指導室長、
お願いします。

教育指導室長。

教育指導室長 私からは「足立区学力向上に関する総合調査」委託事業者の選定結果について報告させていただきます。

15ページをお開きください。

平成24年11月13日に実施しました「足立区学力向上に関する総合調査」の事業提案の特定結果が出ましたので、ご報告をさせていただくというものでございます。

業務名は記載のとおりでございます。

業務概要でございますが、小学校におきましては70校、2年生から6年生で実施いたします。調査教科は国語と算数です。

中学校におきましては37校で実施。調査教科は国語・数学・英語でございますが、1年生につきましては、まだ英語未習ということで実施いたしません。

学習意識調査については小・中両方とも行います。

被特定者の氏名及び住所でございますが、今年度も実施しておりました東京書籍株式会社に決まりました。

見積額が3,695万550円ということでございます。評価結果は記載のとおりでございます。

16ページをごらんください。こちらが選定委員会における評価点でございます。東京書籍、A社、B社の3社によるプロポーザルということになりましたが、特に「業務の理解度」「提案内容的確性」「業務遂行能力」において、東京書籍と2位以下の事業者との間に差が出ております。

A社につきましては毎年同じ問題を実施し、問題は回収するというので、データ保存と管理は

学校で行わなければならないというものでした。

B社につきましては、中学、高校のデータは持っていますが、小学校のデータが不足しており、全国的な比較において不安な面がございました。

なお、コスト面ではA社が高評価を得ていますが、これは毎年同じ問題を使っているためと思われる。

東京書籍に関しましては過去のデータを経年で見ることができ、偏差値も出ておりますので、児童・生徒の成長や課題がより明らかになります。

こういった総合的な評価により東京書籍を選定いたしました。

問題点・今後の方針でございますが、この選定結果に基づき事業者と仕様の調整を行い、契約事務を進めてまいります。

本件に関しては以上でございます。

では、続きまして17ページをごらんください。学校の事故報告11月分でございます。

1の学校事故の状況でございますが、管理下のものが6件ございました。中学校4件、小学校2件でございます。

2の事故内容でございますが、交通事故が1件ありました。こちらは子どもが交差点に一時停止をせず走って入り、車との接触でけがをしたというものです。

授業中における事故でございますが、ア、イ、ウともに体育の授業ということでございます。2件がハードルで転倒し骨折したものです。イに関しましては、バレーボールの試合中に、フラインググレープをして左腎臓の水腫が破裂したというものです。なお、この生徒に関しましては、以前から左の腎臓に水腫があり、今回これがきっかけとなって破裂をしたということでございます。現在は学校生活には問題がないという医師の診断を受けております。

次に、休憩時間等の事故でございます。アについては、生徒が後方から走ってきた生徒とぶつかって骨折をしたものです。イについては、剣道の部活中に防具をつけずに寸どめの練習をして、目に当たってしまったというものです。この目のけがは眼球には異常はないのですが、視力の回復までにはもう少し時間がかかるということでございます。

学校への事故防止の指導につきましては(1)から(4)に記載されているとおりでございます。

今後、特に冬場は体育の授業では準備運動をしっかりとるように、また、危険性の伴うところはしっかりと丁寧な説明を行うように学校に伝えてまいります。

また、武道につきましても十分注意をするよう指導してまいります。

今後の方針でございますが、授業中や部活動の事故防止、これを徹底してまいります。また、登下校時の安全指導に関しましては保護者、地域、関係機関とも連携を図りながら、事件・事故の未然防止に努めてまいりたいと考えております。

私からは以上でございます。

委員長 次に、 について鳥山保育計画課長、お願いします。

保育計画課長。

保育計画課長 19ページをごらんください。

件名は記載のとおりでございます。

本年8月に改定いたしましたアクションプラン進捗状況につきまして、11月末現在の進捗状況をご報告いたします。

初めに、施設等の整備状況でございます。まず、認可保育園でございますが、今年度の整備計画といたしまして282定員を予定してございます。

整備状況でございますが、ウイズ千住大橋保育園につきましてはまだ開発途中ということもご

ざいまして、4歳・5歳児の定員を減らし、19名減での定員設定をさせていただいております。120名のところ101名ということで、263名の整備状況、見込みということでございます。

続きまして、認証保育所でございます。計画40施設でございますが、この7月1日に1カ所新設いたしまして、40施設確保してございます。なお、25年度中の新規開設1カ所に向けまして現在事業者を募集をしているところでございます。

続きまして、家庭福祉員でございます。受託児童数52名という計画をしておりますが、現在34名でございます。第2期募集で決定した4名につきましては現在、養成研修を実施しております。また、第3期の募集をしたところでございますが、残念ながら募集者がいないといった状況になってございます。

続きまして、小規模保育室でございます。整備件数は5施設で計画してございます。定員79名のところ、現在2施設を開設いたしまして35名となっております。今年度中にさらに3施設オープンさせる予定で進めておりますが、現在2施設につきましては審査中、また1施設につきましては募集中でございます。

続きまして、足立区認定保育室でございます。これは足立区の基準に基づいて設置されている園でございます。こちらにつきましては、認証保育所へ移行させる目的で、都から補助金が出ております。数年にわたりまして、同事業所に対して認証保育所への移行をお願いしてきたところでございますが、残念ながら不動産物件が見つからないという理由、また、12月から認可園の募集も始まるということもございまして、今年度いっぱいで廃園するという状況になっております。

続いて、認定こども園でございますが、計画は

2園で、現在2園が協議中となっております。

次に、区独自の公設保育園でございますが、定員28名の計画で、青井おひさま保育園が平成24年7月に開設してございます。来年度、新田にもう1園開設する予定で、準備を進めているところでございます。

次に、子育て応援隊でございますが、定員30名の計画で、30名確保いたしました。10月末現在の利用者数は37名ということになってございます。現在、591名の計画に対しまして整備状況は430名で、72.8%の達成率でございます。

私立幼稚園の預かり保育、4年保育の充実につきましては記載のとおりとなっております、預かり保育実施園は52園となっております。

次に、保育関連情報の提供等でございますが、認可外保育施設、私立幼稚園に関するPRのパンフレットを作成いたしました。窓口での配布、更には10月に行われました区民まつりにおきまして、広く配布しPRを行ってまいりました。

12月に認可保育園の入所案内を配布してございますが、その中にも同封させていただきます情報提供をしたところでございます。

今後の方針でございますが、保育施設等の整備、進捗管理の徹底を行うこと、また保育関連情報のPRをしっかり行いまして、待機児童の解消を図ってまいりたいと考えております。

なお、今後も定例会ごとに進捗状況につきましてはご報告をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

委員長 次に、 について大谷青少年課長、お願いします。

青少年課長。

青少年課長 お手元の資料20ページをご覧ください。

件名は記載のとおりでございます。

9月下旬にギャラクシティのカフェ事業者を募集した結果、候補者が決定いたしましたので、ご報告をさせていただきます。

物件はこども未来創造館1階部分、面積は95平米でございます。

応募事業者は4社ございました。そのうち区内に本社がある事業者は1社、区内に支店がある事業者は1社ございました。

候補事業者は、株式会社スキップキッズに決まりました。このスキップキッズは都内各所、越谷レイクタウン、川崎、横浜などに11店舗展開しております。足立区におきましても、北千住の丸井に1店舗ございます。

審査結果は21ページをご覧ください。審査結果一覧でございます。書類審査、企画提案書のプレゼンテーションにより審査を行いました。スキップキッズは700点満点のところ622点でございましたが、区内に支店がございますので、区内加算3%加えまして640点となっております。

総合的に評価をいたしましてスキップキッズに決定いたしました。評価が低かった2社のうち、B社は個人経営のレストランでございます。経営規模、経験というところで点数が低くなってございます。

また、C社は区外の事業者でございました。我々は、ファミリー層を中心としたメニューを求めているのですが、提案内容はそれとは違う内容だったため、記載のと通りの点数となっております。

今後のスケジュールでございますが、2月までに事業者と覚書を交わしてまいります。

平成25年3月30日と31日に、ギャラクシティのリニューアルオープンイベントがござい

ます。このイベントにおきまして、カフェもオープンしてまいります。

今後の方針でございますが、関係所管としっかり協議を行いながらオープンに向けて準備を進めてまいります。

私からは以上でございます。

委員長 ただいま、各関係所管から報告事項がありました。これらの件につきまして、各委員からご質疑、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。

小川委員。

小川委員 ギャラクシティカフェの出店事業者のことですが、株式会社スキップキッズとA社ですが640点对614点、区内加算率を除けば622点对614点となります。こういう中でスキップキッズに決定した決定的なポイントを説明していただきたいのですけれども。

委員長 青少年課長。

青少年課長 決め手となったのは何かというご質問でございますが、スキップキッズは現在11店舗を展開してございます。かつ、財務状況が大変良好でございます。そうした経営の継続性、安定性が決め手の1つとなりました。

加えまして、各店舗で様々な形態での運営をしており、常にお客のニーズを把握し、それに合わせてサービス内容を変えております。その柔軟性が決め手となりました。

以上でございます。

委員長 小川委員、よろしいでしょうか。

小川委員 はい、わかりました。

委員長 ほかにございますか。

花岡委員。

花岡委員 メニュー内容と価格の実現性ということで、A社よりスキップキッズの方が、点数が低くなっております。この点については、すでに

指導されていると思いますが、どうでしょうか。

委員長 青少年課長。

青少年課長 委員ご指摘のとおり、メニュー内容と価格の実現性につきましては、スキップキッズの点数が、A社より若干低くなってございます。

提案メニューが具体性に若干欠けていましたので点数が低くなっております。社長、店長と話し合いを続けて、個性的なギャラクシティのオリジナルメニューを考えております。

今後もこの協議を続けて、ニーズに合ったメニューにしていきたいと思っております。

以上でございます。

委員長 よろしいでしょうか。ほかにございますか。

小川委員。

小川委員 事故報告について質問します。

剣道部の部活で防具なしで、面の寸どめをしたとありましたが、このようなことは日常的に行われているのでしょうか。

委員長 教育指導室長。

教育指導室長 日常的にこういう練習をしているとは考えにくいものでございます。恐らくはこの部員2名がふざけやったものと捉えております。

小川委員 はい、わかりました。

きょうの報告事項にはありませんでしたが、情報連絡の22ページに、千寿第五小学校と五反野小学校の保護者説明会が、11月10日に開かれているようですが、千寿第五小学校は出席者なしとなっております。状況を教えてください。

委員長 学校適正配置担当課長。

学校適正配置担当課長 これまでも保護者説明会は必ず両校同じ回数をやってございます。千寿第五小学校のこれまでの状況は、統合に反対されている方が出席者の中心になっており、一般の保護者の皆さんが出席しづらいという状況がございま

した。そういった状況の中で、反対派の方がまとまって出席されない場合は、こういった結果になる場合もございます。

小川委員 わかりました。そういう事情があったのですね。

委員長 ほかにございますか。

小川委員 学力調査の事業者選定についてですが、東京書籍は見積金額が約3,700万円ですが、他社の見積額も教えていただけないでしょうか。

なぜこのような質問をしたかという、足立区の財政状況がすごく厳しいということは私もよくわかっています。

そういう中で教育委員会も苦労されて、めり張りあるお金の使い方をされているのもよくわかります。

ただ、校長先生や現場の先生と話をした際に、最近、授業研究や研修の経費にもしわ寄せが来ているという声がありました。教員の研修や研究を教育委員会としてもサポートするために、めり張りのある予算配分をしていかなければならないと思いました。

この学力テストの経費もどのくらい減らすことが可能なのかわかりたく、お伺いいたしました。

委員長 教育指導室長。

教育指導室長 今手元に詳しいものはないのですが、A社に関しましては東京書籍よりも1,000万円ほど安くなっております。

小川委員 1,000万ぐらい違うのですか。

教育指導室長 はい。B社につきましては、200から300万ほど低い価格になっていたと思います。

委員長 学校教育部長。

学校教育部長 修正いたします。A社につきましては、約800万円安くなってございます。当然、その800万円があればという思いは私どもにも

あったわけですが、子どもたちの学力を丁寧に調査し、その結果を継続して、有効に活用するとすると、総合的に勘案すれば800万円の差は仕方ないと考えております。

ただ、小川委員がおっしゃられた、日々の研修に影響があるということはないというのが私どもの認識でございます。

今年度は校長会を通じて校内研修の充実とOJTの強化というのを1つの目標にしていますし、日々の授業や学校運営の面で区の予算が影響するということはありません。

ただ、来年度につきましては、若干、校内研修での外部講師の導入、あるいは一部消耗品購入等について影響が出ることはやむを得ない状況でございます。研修について言えば、教育管理職が若手の教員の授業状況を把握した上で、日々指導するということが最も大切ではないかと指導をしているところでございます。

今後3年間につきましては、財政当局からは毎年縮小という目標が示されていますので、25年から27年にかけては何らかの形の影響が出ることは避けられませんが、我々とすれば最低限日々の授業に影響が出ないように、検証と検討を進めているところでございます。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見等ございますか。

花岡委員。

花岡委員 学力総合調査の件ですが、東京書籍とA社、B社では法令遵守について点数に大きな差がありますが、内容を教えていただければと思います。

委員長 教育指導室長。

教育指導室長 こちらに関しましては答案の管理方法に関しての評価です。そういった点では、東京書籍は答案を全てスキャナーにかけ、データも

別の場所にサーバーで保存するという管理でございました。それに対しA社、B社につきましては、若干、管理の甘さが見受けられました。そこでこのような差が出たということでございます。

以上です。

委員長 花岡委員、よろしいでしょうか。

花岡委員 はい。

委員長 ほかに何かございますか。よろしいですか。

(なし)

ほかにないようでしたら、報告事項について、これで終了いたします。

委員長 それでは、以上をもちまして、本年第12回足立区教育委員会定例会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

午後3時45分閉会